

解説

主張

大学など研究機関が持つ技術を、企業へ橋渡しするため昨年四月に発足した岡山TLO（技術移転機関、岡山市芳賀）が、今年に入り四件の技術を移転するなど実績を上げ始めている。より多くの特許を提供するため、広島TLO（広島市中区）と連携協定を結ぶなど、取り組みを強化。だが一方で経済的な基盤確立には至っていない。岡山TLOの現状と課題を探った。

（内田圭助）

岡山TLOが移転したル製造の化繊ノズル製技術のうち、最も実用化作所東江原工場（井原市に近くとみられるのは、東江原町）に移転。同社レーザー加工機の先端部分は需要を探る市場調査分に取り付ける不活性ガスを始めており、今秋にス噴射ノズルの製造方も生産を開始するといふ。加工面の精度を高め

る技術で、岡山大大学院 同社の香川俊樹常務はの宇野義幸教授らが開発「社内アイデアでは生

岡山TLO

込みたい」と話す。このほか、脳梗塞などで起こる障害を抑制する冷却装置など三件を大阪の医療機器メーカーに移転。六月にアルミウム行）を機に、全国で相次

の製造技術を真内の個人ぎ誕生した。二〇〇一年に四国TLO（高松市丸の内）、〇三年には広島TLOが発足。現在、四十組織まで増えている。岡山TLOは全国で三

特許数が拡大

TLOは大学等技術移転促進法（一九九八年施行）を機に、全国で相次



岡山TLOによる化繊ノズル製作所への技術移転調印式＝6月17日、岡山市内

件数増と運営費確保が課題

十七番目の設立。事務局を真産業振興財団内に置き、コーディネーターら四人の専属職員が移転業務を担当している。

初年度を「地盤づくりの年」と位置付け、大学に眠る技術シーズ（種）の掘り起こしと会員企業の獲得に力を入れた。

一方、県内八大学に岡山TLOを最優先で利用してもらう協定や県工業技術センターが持つ特許を扱う契約も結んだ。

七月末現在の会員企業は当初目標（百社）の収入は会員の年会費を大幅に上回る二百五十万と、企業が支払う特許使用料（ロイヤルティ）も岡山TLOの収入は両者を合わせて千数百万円しかない。

さらに今年六月、広く、不足分は国や県から岡山TLOと特許情報の相互に交換する協定を締結し、他の近隣TLOとの連携も模

案。日名英司・岡山TLO統括は「これまで七件の技術を移転した山での活動が芽を出し

スーム TLOを研究機関に還元する仲介機関。岡山TLOのロイヤルティ配分率はTLOの40%、研究機関60%。大学が自ら特許を出願した場合、岡山TLOへの配分率は20%。

始めており、本年度中、一ロイヤルティだけで運営費を稼出すまでには至っておらず、若手技術者の育成など、他団体から受託した事業の報酬で埋め合わせている」と

ロイヤルティの額は、移転する特許の価値で決まるため、TLOを大学側への働き掛けを強化すること欠かせない。外国製品が国内市場を支配する医療機器分野などで通用する特許を掘り起こすことも有効な方法と言えよう。

技術移転の実績を上げつつある岡山TLOだが、人件費を含め、年間三千万円に上る運営費の調達が今後の最大の課題になる。通常、TLO承認する経済産業省は多額のロイヤルティをもたらずに特許を発掘することが自立への近道」と指摘する。

設立後五年余りで七十件の活動を芽を出し、岡山TLOは、優秀な実績から、国から「スパーTLO」に認定されている

大学の技術 企業移転進む

は、優秀な実績から、国から「スパーTLO」に認定されている

今週の窓

先々週、被爆者の取材で広島市の平和記念公園を訪ねた。「安らかに眠って下さい。過ちは繰返しませぬから」と刻まれた原爆死没者慰霊碑に手を合わせ、広島平和記念資料館に立ち寄ると、開館五十年にちなんで企画展が開かれていた。

平山郁夫画伯の陶壁画「広島生変凶」は原爆の劫火を激烈に描いていた。被爆した馬（当時六歳）の刺製にも目が留まった。爆心也从一・三キロの所で熱風を合わせて自身も

「意見・情報を」 「解説&主張」のページについて、ご意見や情報をお寄せください。〒700-8734（住所不要）山陽新聞解説委員室。ファクスは086-(24)512906。メールアドレスはkaijetsu@syno.oni.co.jpです。連絡先はできるだけ明記してください。